

年末手当・賞与交渉妥結!

JR四国

◆年末手当過去最大0.23カ月分上積み! ライフプラン支援金含め

◆キースト組合員の一時金に乘じる係数 2.28カ月を勝ち取る!! 特例0.6を死守!!

◆年末手当過去最大の上げ幅を 3年連続更新するとともに、 ライフプラン支援金含め 年間支給月数4.54カ月に!

先行き不透明な中、要員不足に耐え、組合員が各職場で奮闘!! 安全・安定輸送はもとより、収入の回復にも大きく貢献し、第2四半期決算での大幅な黒字実現を強く訴える!!

分会大会、全日程終了!



各分会にて活発な議論が交わされた

JR四国労組は、9月13日の多度津運転区分会を皮切りに

今年度の分会大会を開催。12月13日までに全ての分会大会の日程を終了した。各分会大会では、執行部より2023年度の一般経過報告、決算報告が行われ、その後、2024年度活動方針(案)及び予算(案)が提起された。

出席した代議員からは、逼迫する要員状況の改善に向けた様々な提案や直近の年末手当を含めた賃金の改善に向けた要望、多様化する組合員に対する制度・設備等に関する質疑が行われ、執行部からの答弁の後、各議案は満場一致で採択。高松車掌区分会においては、職場の統合に伴い効率的な組織運営を図る観点から解散大会において、高松運転所分会として引き続き参画する事が確認された。議題がすべて終了した

後、最後に各分会長による力強い団結ガンパローで締めくくった。分会は組合活動の原点であり、組合員同士のコミュニケーションを強化し、連帯感を高めることが組織の強化、拡大につながる。各分会役員には、分会大会において決定した活動方針に沿って、世話役活動を充実させることにも、より良い職場づくりに取り組むことを要請する。

JR四国との年末手当交渉は、11月14日に第2回目の団体交渉を開き、前回交渉で行った組合からの要求主旨説明に対して会社側から「鉄道運輸収入の改善の一方、分譲マンション販売の反動等により、営業損益は悪化

している。年末手当については資源価格等の動向も踏まえた経営見通しに加え、人財の確保・定着を目指し、総合的に判断する」と考え方が示された。組合はこれに対し、「厳しい要員状況にあっても、組合員は日々、安全・安定輸送、収入の拡大に貢献している。第2四半期決算の内容を見つづ、物価高騰による組合員の生活への影響も鑑みれば、この間の組合員の奮闘に対して良い回答を示すべき」と訴え、厳しい要員状況の中、安全・正確・快適な輸送の提供を続ける組合員に報い、モチベーションの維持・高揚につながる回答を示すよう会社に強く求めた。最前線で会社を支え続ける組合員に資する結果を粘り強く求め続けた結果、11月22日に開催した



第3回目の交渉において、会社側からライフプラン支援金をあわせて基準内賃金の2.28カ月(賞与単体では、1.88カ月)という回答を引き出した。組合は、組合員の奮闘を最大限評価した会社の精一杯の回答であると判断し妥結した。(詳細は、JR四国労組ニュースNo.13、14参照)



各単組を代表し、熱く発言する各代議員

JR四国労組は、12月15日(金)にホテルアネシス瀬戸大橋で「第38回定期本部委員会」を開催する。この委員会は、2025年度活動方針(案)の審議を行う。また、2025春季生活闘争方針をはじめとする当面の活動方針(案)についても議論する。委員会は、13時から17時まで開催される。場所は、高松市西の丸町11-9にあるホテルアネシス瀬戸大橋である。参加費は無料である。申し込みは、各分会の役員を通じて行う。問い合わせ先は、各分会の役員である。委員会の開催は、組合員の意見を反映し、組合の発展に貢献する重要な機会である。組合員は、この機会を利用して、組合の発展に貢献する。委員会の開催は、組合員の意見を反映し、組合の発展に貢献する重要な機会である。組合員は、この機会を利用して、組合の発展に貢献する。

「第38回定期本部委員会」の開催について

- 1 日時 2025年2月7日(金) 13時から17時まで
2 場所 ホテルアネシス瀬戸大橋
3 議題 (1) 定期大会以降の経過について (2) 2025春季生活闘争方針をはじめとする当面の活動方針(案)について (3) その他

JR四国グループ労働組合連合会「第30回定期大会」開催!

ジェイアール四国バス 昨年年末手当から大幅0.6カ月分上積み! 2.35カ月を勝ち取る!! 年間支給月数4.5カ月に!

ジェイアール四国バスは、11月18日に第2回目の団体交渉を開き、ジェイアール四国バスを取り巻く状況は便数に対して利用状況が堅調に推移する等、第2四半期決算で黒字を計上したものの、乗務員不足で依然として減便を余儀なくされるなど、楽観視できない中での交渉となつた。しかしながら、今年度第2四半期における黒字計上、極めて厳しい状況下でも組合員・家族の理解のもとに達成された点や、組合員一人ひとりの「安全・安心輸送」の確立によって達成された点を強く訴えるとともに、今後の取り組みに労使一体で臨んでいかなければならないことを踏まえ、賞与の支給月数が与える組合員のモチベーションへの影響を粘り強く訴え続けた結果、会社より基本給額の2.35カ月という回答を引き出した。組合は、コロナ禍以前の水準といえる大幅な改善が図られた点、また組合員一人一人の安全・安心輸送への評価がなされたものと受け止め、会社の精一杯の回答と判断し妥結した。(詳細は、自動車部ニュースNo.6参照)

JR四国グループ労働組合連合会「第30回定期大会」開催!

ジェイアール四国バスは、11月18日に第2回目の団体交渉を開き、ジェイアール四国バスを取り巻く状況は便数に対して利用状況が堅調に推移する等、第2四半期決算で黒字を計上したものの、乗務員不足で依然として減便を余儀なくされるなど、楽観視できない中での交渉となつた。しかしながら、今年度第2四半期における黒字計上、極めて厳しい状況下でも組合員・家族の理解のもとに達成された点や、組合員一人ひとりの「安全・安心輸送」の確立によって達成された点を強く訴えるとともに、今後の取り組みに労使一体で臨んでいかなければならないことを踏まえ、賞与の支給月数が与える組合員のモチベーションへの影響を粘り強く訴え続けた結果、会社より基本給額の2.35カ月という回答を引き出した。組合は、コロナ禍以前の水準といえる大幅な改善が図られた点、また組合員一人一人の安全・安心輸送への評価がなされたものと受け止め、会社の精一杯の回答と判断し妥結した。(詳細は、自動車部ニュースNo.6参照)

ジェイアール四国バスは、11月18日に第2回目の団体交渉を開き、ジェイアール四国バスを取り巻く状況は便数に対して利用状況が堅調に推移する等、第2四半期決算で黒字を計上したものの、乗務員不足で依然として減便を余儀なくされるなど、楽観視できない中での交渉となつた。しかしながら、今年度第2四半期における黒字計上、極めて厳しい状況下でも組合員・家族の理解のもとに達成された点や、組合員一人ひとりの「安全・安心輸送」の確立によって達成された点を強く訴えるとともに、今後の取り組みに労使一体で臨んでいかなければならないことを踏まえ、賞与の支給月数が与える組合員のモチベーションへの影響を粘り強く訴え続けた結果、会社より基本給額の2.35カ月という回答を引き出した。組合は、コロナ禍以前の水準といえる大幅な改善が図られた点、また組合員一人一人の安全・安心輸送への評価がなされたものと受け止め、会社の精一杯の回答と判断し妥結した。(詳細は、自動車部ニュースNo.6参照)

ジェイアール四国バスは、11月18日に第2回目の団体交渉を開き、ジェイアール四国バスを取り巻く状況は便数に対して利用状況が堅調に推移する等、第2四半期決算で黒字を計上したものの、乗務員不足で依然として減便を余儀なくされるなど、楽観視できない中での交渉となつた。しかしながら、今年度第2四半期における黒字計上、極めて厳しい状況下でも組合員・家族の理解のもとに達成された点や、組合員一人ひとりの「安全・安心輸送」の確立によって達成された点を強く訴えるとともに、今後の取り組みに労使一体で臨んでいかなければならないことを踏まえ、賞与の支給月数が与える組合員のモチベーションへの影響を粘り強く訴え続けた結果、会社より基本給額の2.35カ月という回答を引き出した。組合は、コロナ禍以前の水準といえる大幅な改善が図られた点、また組合員一人一人の安全・安心輸送への評価がなされたものと受け止め、会社の精一杯の回答と判断し妥結した。(詳細は、自動車部ニュースNo.6参照)

各種ボランティア活動へ参加！

オイスカ四国支部
「山・林・SUN体験」



オイスカ四国支部泉会長と

は全く異なる景色が斜
面には見られるなど、
達成感を得ることがで
きた。また、作業終了
後には、スタッフの方
から温かい食事等を振
舞っていただき、各
自が携わった桜の木も
しつかり育って欲しい
と感じつつ、無事活動
を終える事ができた。

東日本大震災復興
プロジェクト

公益財団法人オイス
カが宮城県名取市にお
いて主催する「東日本
大震災復興海岸林再生
プロジェクト」に11月
16日(土)、JR連合か
ら9名、うちJR四国
労組からも2名の組合
員が参加した。
この活動は東日本大

震災の津波で大きな被
害を受けた名取市の海
岸林を復活させたいと
いう地元住民の意思を
受け、オイスカがプロ
ジェクトとして立ち上
げたものであり、20
12年から取り組みが
行われている。
今回は、生育状況の
調査を主な作業として
予定していたところ、
それまでの作業の進捗

が順調であったため、
排水路の整備(溝切り)
作業に着手することと
なった。想定外の好天
に恵まれたこともあり、
汗をかく作業となった
ものの、非常にやりが
いを感じる作業となっ
た。
JR四国労組は地域
社会を支えるJRとし
ての役割、労働組合の
社会的な役割に鑑み、



腰に優しい姿勢・・・!

JR連合やオイスカ等
との連携したボランティア
活動に取り組む。

JR四国労組退職者連絡会第19回総会開催



11月29日(金)14
時30分より、本部1
階会議室において
「JR四国労組退職
者連絡会第19回総会」
が開催された。
総会には、清水会
長をはじめ四国各地
より役員及び各県代
表の幹事らが出席。
来賓として、JR四
国労組大谷執行委員
長らを迎え議事に入
った。

執行部から経過報
告、会計報告、会計
監査報告がなされた
後、活動方針案及び
予算案として、今後
予算案として、今後

の退職者連絡会の更
なる活動の推進、こ
ろみん共済coop
事業の加入促進への
取り組み等を議論し
た後、満場一致で全
ての議事が承認され
た。
続く役員改選にお
いては、6年に亘り
退職者連絡会を率い
た清水会長が退任さ
れ、新たに浅岡会長
が選出された。新三
役は以下のとおり。

- 会長 浅岡 秀幸 (愛媛支部)
- 副会長 真辺 政昭 (高知支部)
- 野口 利明 (徳島支部)
- 事務局長 石川 哲也 (香川支部)

四国交運労協第36回定期総会開催!



議長団に選出された永正特別代議員 (徳島支部書記次長)

11月5日(火)、
徳島県徳島市「徳島
グランヴィリオオホテ
ル」において、「四
国交運労協第36回定
期総会」が開催され、
代議員・特別代議員
等を含め、約70名が
会場に参集した。

議長団に選出された永正特別代議員 (徳島支部書記次長)

議長団に選出された永正特別代議員 (徳島支部書記次長)

第5回本部執行委員会開催



直近の交渉結果もふまえて協議

11月24日(日)12時30
分より、第5回本部執行
委員会を開催した。
【経過報告】
(組織)
・組織の強化・拡大
・退職者連絡会二役・
支部長会議
(経協)
・中間決算(JR四国・
ジェイアール四国バス)
・鉄道車両における輪軸の
緊急点検結果について

(団交)
・2024年度年末手当・
賞与(JR四国・ジェ
イアール四国バス)
(調査)
・JR連合第11回バス関
係労働者賃金実態調査
の回収結果について
(政治)
・第50回衆議院議員総選挙
(教育)
・ユニオンスクール
・フレッシュユマンコース
(共闘)
・中央交運労協定期総会・
地方代表者会議
・四国交運労協定期総会

(青女)
・支部青女定期委員会
(レク)
・第34回ゴルフ大会
(JR連合)
・労働政策委員会
・女性役員意見交換会
・2024連合中央女性
集会
・自動車連絡会総会
・エリア連合代表者会議
・組織財政検討委員会
・JR連合ビジョン推進
委員会
・JR連合総対話行動
【議事】
①2024年度年末手当・
年末賞与の妥結承認に

ついて
②ダイヤ改正実施に伴う
経営協議会の付議事項
について
③JR四国労組「第38回
定期本部委員会」の開
催について
④ユニオンスクール「リ
ダーコース」の開催に
ついて
⑤女性役員ネットワーク
委員会の開催について
⑥新春レクリエーション
(うどん打ち体験・
初詣で)について
⑦当面するスケジュール
について
⑧その他

議長団の1人と
して永正特別代
議員(JR連合)が
選出され、2025
年度の運動方針等
を満場一致で決定した。
代表者らに立って
表して挨拶した
砂田篤志議長(私鉄
総連)は、衆議院議
員総選挙への対応を
含めた一年間の取
組みについて謝辞を
述べ、「要員不足が
深刻な現下におい
て、不規則勤務な
どを



白木議長を選出し新体制スタート

新春レクリエーション
(うどん打ち、初詣)
開催について

◆開催日 2025年1月26日(日)
※10:45に琴平駅集合

◆対象者 各支部5名
(香川支部・本社支部は10名)

◆参加費等 2,000円
(別途旅費として1,000円支給)

※詳しくはJR四国労組発第35号参照
お申込は各支部まで!

新年の金毘羅さんでうどん打ち体験と
初詣を行います!!

終了後は田中屋にて懇親会を行います!



「賃金実態調査」ご協力に感謝!

JR連合では「中期労働政策ビジョン」で設定した賃金目標や世間
水準等との比較・検証を行い、2025年春季生活闘争方針の策定をは
じめとした労働政策議論に反映すべく、賃金実態調査を実施。JR四
国労組では次の結果となった。組合員のご協力に厚く御礼申し上げます。

◆第31回賃金実態調査 1,620枚回収! (回収率94.1%)

◆第11回JRバス関係 136枚回収! (回収率97.8%)
労働者賃金労働条件実態調査

レ・サークルだより

高松運輸所分会

分会統合を目前に
同じ職場で働く仲間
として絆を深める!



私たちが高松運輸所分
会では、9月23日から

27日までの6日間の日
程で、高松市「瓦町F
LAG屋上ビアホール」
において、高松車掌区
分会の解散及び高松運
転所分会への統合に先
立って両分会合同での
レクリエーションを行
いました。
来賓として、大喜多
所長をお招きするなど、
組合員・準組合員総勢
89名が参加し、和気藹々
とした雰囲気の中で、
分会の統合を見据え、
同じ職場で働く仲間と
して絆を深めました。
今後も様々なサークル
活動を同じ組合員
の親睦、組織の充実・
強化に繋げたいと思っ
ます。
高松運輸所分会会長
小笠原 由洋